

オラム・グループ(OLAG)

オラム・アグリ¹の全保有株式をサウジ農業・家畜公社へ売却する計画が進展。再編計画で特別配当と非中核事業売却へシンガポール | 農産物 | 業績フォロー

BLOOMBERG OLG:SP | REUTERS OLAG.SI

- 2025/12期1H（1-6月）の継続事業ベースは、ココアやコーヒーの国際相場高騰に伴う販売価格上昇の追い風を受けて大幅増収増益を達成。
- オラム・アグリ¹の全保有株式をサウジ農業・家畜公社へ売却する計画が進展。売却資金は債務削減とバランスシート縮小へ充当する見通し。
- 今年4月に公表した再編計画では、株主還元目的の特別配当のほか、その他事業部門における非中核事業の売却も含み、スリム化を進める。

What is the news?

8/14発表の2025/12期1H（1-6月）は、サウジ農業・家畜投資会社（SALIC）への売却により非継続事業となったオラム・アグリを除く継続事業ベースで、売上が前年同期比49.9%増の152.66億SGD、無形固定資産の償却費用の影響を除く調整後EBIT（利払い前税引き前利益）が同80.0%増の7.28億SGD、異常気象などの例外的要因の影響を除く「オペレーショナル純利益」が前年同期の▲0.78億SGDから1.80億SGDへ黒字転換となった。全体の販売量は同0.7%増加にとどまったものの、ココアやコーヒーの国際相場高騰に伴う販売価格上昇が業績を押し上げた。

1H（1-6月）の部門セグメント別の調整後EBITは以下の通り。①食品原料部門（OFI）が前年同期比13%増の5.35億SGD。その内、「原料委託・サプライチェーン（グローバル・ソーシング）」が同64%増の1.38億SGD、「付加価値食品原料・ソリューション」が同3%減の3.77億SGDだった。②売却対象（非中核）事業または育成新規事業を対象とする「その他グループ部門」が、ユーロ建て資産の為替換算に伴う評価益の増加の寄与もあり、前年同期の▲0.93億SGDから1.73億SGDへ黒字転換だった。

How do we view this?

オラム・アグリ¹の全保有株式をサウジの政府系基金「パブリック・インベストメント・ファンド（PIF）」傘下のSALICに計25.8億USDで売却する計画は、7/4までに約45%分の売却について株主の承認を得た。2022年に既に約35%を売却していたことから残り20%の持分となり、残りについては45%売却完了日から3年以内の売却を予定している。

同社が今年4月に公表した再編計画では、オラム・アグリ¹の売却によって得た資金20億USDを債務削減とバランスシート縮小など資産負債構成の適正化に充てるとしている。株主還元として特別配当を実施する計画も含まれている。また、既に6月末までに「食品原料部門への株主資本のエクイティ資金5億USDを注入したほか、「その他グループ部門」の事業資産についても再編の一環で非中核事業を整理し、売却によるキャッシュ化を進めている。雇用喪失に関する一時費用を2025年2H（7-12月）に計上の見通しだ。再編完了後、同社グループはよりスリムで持続可能な構造となり、長期的な価値創造が期待される。

業績推移

※参考レート 1SGD=114.64円

事業年度	2021/12	2022/12	2023/12	2024/12	2025/12F
売上高（百万SGD）	47,001	54,900	48,271	56,158	-
当期利益（百万SGD）	686	629	278	86	-
EPS（SGD）	0.18	0.15	0.06	0.01	-
PER（倍）	5.50	6.60	16.50	99.00	-
BPS（SGD）	1.79	1.88	1.74	1.66	-
PBR（倍）	0.55	0.53	0.57	0.60	-
配当（SGD）	0.08	0.08	0.07	0.06	-
配当利回り（%）	8.08	8.08	7.07	6.06	-

（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg）

フィリップ証券株式会社

配当予想（SGD） - （予想はBloomberg）
終値（SGD） 0.99 2025/9/30

会社概要

1989年設立の食品・農産物商社。政府系投資会社テーマセクHDが過半数株式を所有するほか、三菱商事（8058）が約17%を保有する。コメダHD（3543）のコメダ珈琲にコーヒー豆を供給している。

同社は「2019-2024年ストラテジック・プラン」の下、非中核資産・事業売却と経営資源再配分のため、2020年に事業再編を実施した。

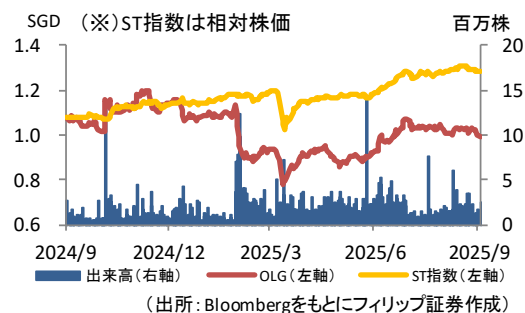
①「食品原料部門（OFI）」は、ココア、コーヒー、ナッツ、スパイス、乳製品のビジネスを取扱い、「原料委託・サプライチェーン」と「付加価値食品原料・ソリューション」の2つのサブセグメントから構成される。

②「グローバル農業部門（OGA）」は、穀物、総合飼料&タンパク質、食用油、米、綿花、その他農産物、およびコモディティ関連金融サービスを取扱い、「食料および飼料（企画・商品化）」、「食料および飼料（加工・高付加価値化）」、および「繊維&農業サービス」の3つのサブセグメントから構成される。

③OFIとOGAの持ち株会社である「オラム・インターナショナル部門（OIL）」は、カーブアウト、IPO、事業売却など「非中核資産・事業売却」のほか、オラム・バーム・ガボン（OPG）、パッケージ食品、インフラ・物流の3ビジネスを対象とした「事業の懐胎」、および持続可能なライフスタイルに貢献するためのビジネス・プラットフォーム開発に係る「事業の創出」の3つのサブセグメントを運営する。

企業データ(2025/10/1)

ベータ値	1.11
時価総額(百万SGD)	3,714
企業価値=EV(百万SGD)	19,146
3ヵ月平均売買代金(百万SGD)	2.2



主要株主（2025/10）

1. テマセク・ホールディングス	52.05
2. 三菱商事	14.71
3. KEWALRAM SINGAPORE LTD	7.03

（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

リサーチ部

笹木 和弘
kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考としてレポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、本レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載することを禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則（平14.1.25）」に基づく表示>

・フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。